

先生各位

受託中止項目および新規検査項目のご案内

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび下記のとおり受託中止項目および新規検査項目のご案内を申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

● 受託中止項目

《最終受付日》 平成 30 年 12 月 1 日（土）まで受託

《中止項目》

総合 検査案内	検査 コード	検査項目名称	代替項目
P.41	0974	IgD	なし
P.83	1410	HTLV-I 抗体 (ATLA) 【ウエスタンブロット法】	HTLV-I 抗体 (ATLA) 【ラインプロット法】 【検査コード 5038】 ※次頁参照

《中止理由》 委託先における中止

● 新規検査項目

《受託開始日》 平成 30 年 12 月 3 日（月）受付分より

《検査要項》

検査項目名称	HTLV-I 抗体 (ATLA) 【ラインプロット法】
検査コード	5038
JLAC10	5F460-0000-023-833-11
診療行為コード	160142650
検体量	血清 0.2mL
保存・容器	冷蔵・A1→A2
実施料（判断料）	425 点（免疫）
所要日数	5 ~ 12 日
検査方法	ラインプロット法（LIA 法）
基準値	陰性

保険収載名称：HTLV-1 抗体（ウエスタンプロット法及びラインプロット法）

保 険 注 釈：HTLV-I 抗体定性、半定量又は HTLV-I 抗体によって陽性が確認された症例について、確定診断を目的としてウエスタンプロット法又はラインプロット法により行った場合に算定する。

《解 説》

HTLV-1（ヒト T 細胞白血病ウイルス I 型）は、成人 T 細胞白血病・リンパ腫（ATL）や HTLV-1 関連脊髄症（HAM）の原因ウイルスであり、一度感染するとキャリアになります。スクリーニング検査で陽性が確認された場合、ウエスタンプロット法による確認検査が行われていますが、判定保留率が高いことが問題とされています。

本検査は、ラインプロット法により HTLV-1 抗体および HTLV-2 抗体を検出する定性検査であり、現行のウエスタンプロット法と比べ、判定保留率の低減が期待されています。

《注 意》

測定対象は、HTLV-1 抗体および HTLV-2 抗体ですが、型別の報告はできません。